

おなかね 小石

発行者 小合地域コミュニティ協議会 (コミュニティセンター内) ☎0250-25-2299 発行人/阿部 繁 編集/総務部	地域の人口動態 令和2年12月末現在 世帯数 1,255戸 男 1,780人 女 1,859人 人口 3,639人
--	--

「コミ協」の「守備範囲」

小合地域コミュニティ協議会

会長 阿部 繁

朝ドラの「エール」(励ます・応援する)は大正から戦後の高度経済成長期を駆け抜けた一人の天才作曲家の活躍をドラマ化したもので日本中が元気をもらった作品でした。新型コロナウイルス禍もあり最後は短く「ミニ紅・白」のように仕上げられていました。

小合地域の皆様あけましておめでとうございます。

新年に当たり小合地域コミュニティ協議会(以下コミ協)の周辺の地域課題を概観してみます。

▼国道460号「小合バイパス」早期開通(以下小合バイパス)と農地圃場整備事業(1区画1ha)です。前者は新潟市に要望中です。

「農地圃場整備」事業はすでに地権者の同意がほぼ得られており工程管理もできて

いる「小合バイパスの法線

(距離・幅員など含む)を令和5年ごろまでに決めていただきたい」それができないと遅れる。(新津郷土地改良区)法線は「小合バイパス」の中ではできていて新潟市長要望書にも記載されている(これまでの討議経過からの想定案)近年中に地域合意を得て確定すれば農地圃場整備事業は加速する。

▼地域と学校です。小合東小学校の令和3年度入学予定児童の就学前健診(10月末)で「学童保育」が無い。困った。と父兄の声が上がりました。保育できない。他校には・・・避けたい。地域の衰退にもつながります。現在、学校・父兄・コミ協で設立に向けて進行中です。

一方、小中学校の「生徒推計」によれば、小合小学校の複式学級(令和8年度2・3

年生)が想定されます。新潟市教育委員会の担当課と協議(各PTA・コミ協)を始めました。これからは地域も参加してあるべき姿の議論が始まります。加えて、東幼稚園の2021年度閉園後の跡地利用に向けた準備として測量が始まります。"こどもは地域の宝"この言葉の具現化は地域社会の熱意の証しになる。

こうした事態は人口減少により発生するものです。

「農地の転用ができないので宅地等ができない。だから人も来ない。」よく耳にします。現実に用地の確保ができなくて地域外に転出した企業もあります。都市計画と地域の活性化政治・行政地域住民が一体となり議論を深めてほしいものです。

▼地域住民の健康増進(心理面含む)のために「フレイル予防教室」を3回(3回目は2月6日(土))行政と共催で行いました。心身とも健康で人生を楽しみたい。健康増進に

関する支援事業は続けたいものです。ひと月(10月)の自殺者数が、11月20日までの新型コロナウイルス感染症の死者数を上回る。その背景にはウイルス禍があると伝えている(11・20、日報抄)。見えないものなどに生活や人生を翻弄され生きる気を失う人びと。大切な家族を失い悲しみに暮れる方々がこれ以上増えないこと願うものです。

▼地域の見守りと援助。コミ協・自治会の役割は、日々のボランティア活動を通じて「虫の眼(自治会・町内会)・鳥の眼(コミ協)」で地域を俯瞰しながら「見えないハーンズ」を地域に作る。併せて行政などと「自助・共助・公助」の協働で支援に当たる。地元の「栗宮」地内において蓋つきの道路側溝改修工事が進んでいます。自治会長がころ地域要望をした経緯があります。

(次ページにつづく)

「道路の外側線」の補修（浦興野・子成場付近）など地域要望を起こしています。即応できるものもあります。が、実現には時間がかかります。手を挙げて、ねばり強く要望をつづけることが大切です。

▼「SNS小合」がコミ協からスタートしています。現職中のキャリアをいかしてパソコン・スマホを自在に操る役職員もいれば稚拙な方（筆者）もいる。が、役員間の連絡は機能し始めています。ペーパーレスはよいが「思考」には紙（ノート）と鉛筆が必要なのは私だけでしょうか。子供たちは一人一台のパソコンが与えられる。私達の仕事は広く多岐にわたる「住みたい住み続けたい小合づくり」は続くがそれには持続可能な組織があつてこそ可能です。「SNS小合」はその一つのツールです。ごく近い将来において自治会・町内会にもSNS時代がきそうです。時代に取り残され



ないように日々研鑽します。（注ⅰ）就労などにより、昼間保護者のいない家庭の小学生に対し、健全な遊びや安全な生活の場を提供し、心身の健やかな成長を促すことを目的に運営しています。

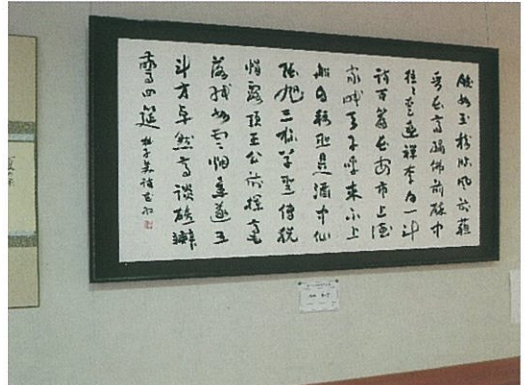
（注ⅱ）「安全ベルト」高所作業等での落下防止に使う。地域社会の中でも自治会などが日々の活動の中で見守る。

第3回 小合コミ協芸術祭 11・22 開催

11月22日 新型コロナウイルスの感染防止対策を行う中で3年目の芸術祭を開催しました。

①作品展示 【主な展示内容】（小合地域から沢山の作品があつまりました。）
 植木・盆栽・生け花・鉢植え・絵画・写真・俳句・書・手芸・書道（小合書道教室作品、小合中書道）・チョークアート・小合の幼稚園、保育園、中学生の美術科・技術科作品
 ・絵手紙・県職員研修会発表資料 他、多数

②ステージでは、最初に「おはなしの玉手箱」の会の皆さんによる絵本の「読み聞かせ」を行っていただきました。その後、ジャズシンガー「えのもとくみこ」さんから「愛の賛歌」などの歌で芸術祭を大いに盛りあげていただきました。



絵手紙教室 作品

県職員研修会発表資料

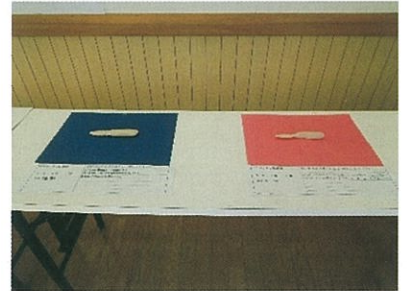
写真で見る コミ協芸術祭 11・22



小合東幼稚園、児童の作品



小合中体育祭「紅軍」「蒼軍」の応援旗



小合中・技術科作品



盆栽・生け花 など



サロン さくら会



歌：えのもとくみこさん ピアノ：海老紀美子さん

おはなしの玉手箱 の皆さん



ミニ門松作り

12月6日(日) 大ホール

地域の皆様に、ご自身で制作した心のこもった門松飾りを、家に飾って楽しく正月をお迎え頂こうと、「ミニ門松づくり」の教室を開催しました。

講師は川根の古川武さんにお越し、男性8人女性10人の皆様からご参加を頂きました。玄関の飾り棚や室内飾りに適し、誰でも簡単に作れる、綺麗で可愛い高さ30cm程のミニ門松飾りを作りました。色々な所で竹細工のご指導をされている古川講師のユーモアを含んだお喋りとの確なご指導を頂きながら、鋸やナイフで竹を切る作業は協力し助け合い、自由発想の部分を含んだ飾り付けの作業では、予想以上の出来映えに喜んで、最初は緊張気味だった人達も慣れて、お互いの作品をチェックしたり、自画自賛をしたりとか、和やかで楽しい時を過ごして、皆さん立派なミニ門松飾りが出来上がりしました。

【文化教養部】



コロナ渦の中、マスクと換気に注意



紅葉映える金津路を歩こう 健康ウォーク(第53回)

11月8日(日)

新型コロナウイルス感染防止のため、ソフトバレーや輪投げ大会などほとんどのスポーツ活動が中止になったことから、保健体育部と小合地区スポーツ振興会が中心になり野外で3密を避けて健康ウォーキングが行われました。



当日は県立植物園を出発し、紅葉深まる金津路を歩き、雨上がりもみじが光る中野邸を見学しました。
【保健体育部】



中野邸でハイポーズ

道路車道外側線表示実施に向け 市の立ち合い実施

12月1日 浦興野地内

小合地域の道路で車道外側線表示が消えて、(図参照 大秋排水機場前(浦興野高橋商店前)交通安全上大変危険であり、外側線表示の要望書を提出していました。この度、新潟市秋葉区役所の現地立会いを実施しました。



結果

随時各自治・町内会長と現地立会いを実施し、令和3年3月末か4月初旬より、新通りから区間を決めて実施。